

(株)SIM-Drive 第3号先行開発車輻完成に関わるお知らせ

大同工業株式会社は、5～10年先の中長期的将来に向けた次世代自動車市場での新規事業基盤の確立を図るとともに、電気自動車の普及促進と地球環境の保護に貢献することを目的として、昨年2月に株式会社SIM-Driveが運営する電気自動車に関する先行開発車事業第3号に参画いたしました。この度、3号車が完成の運びとなりましたのでお知らせいたします。



3号事業開発車輻 SIM-CEL

1. 株式会社SIM-Driveについて

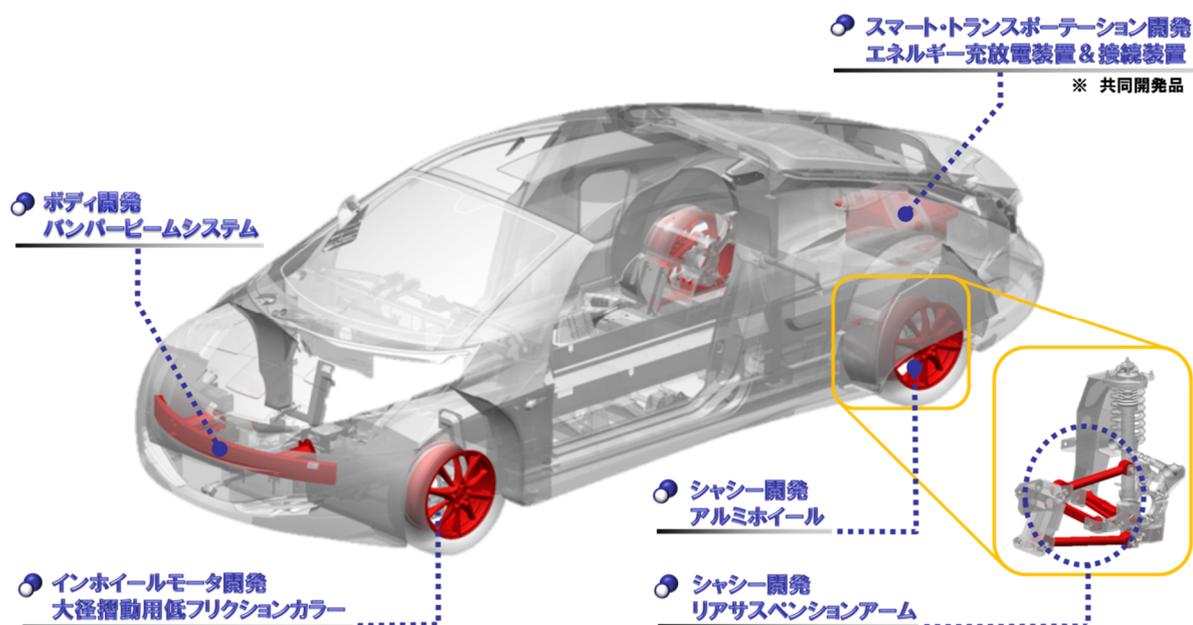
株式会社SIM-Driveは、慶應義塾大学清水教授が30年にわたって培ってきた電気自動車に関する技術やノウハウをオープンソースのスタイルで提供し、以って、電気自動車の普及促進を図ることを目的として2009年に設立された電気自動車の研究・開発会社です。

先行開発車事業は、趣旨に賛同して参加する各社が開発費を拠出し、近い将来大量生産が可能となる電気自動車を試作開発する事業です。第3号事業には自動車関連企業に限らず住宅メーカー、電機、空調など幅広い業種から26社が参加しております。詳しくは株式会社SIM-DriveのWebサイト等をご参照ください。 URL : <http://www.sim-drive.com/>

2. 当社取り組みの概要

第3号の先行開発車事業は、2号事業までの4つのワーキンググループ(以下W.G.)「デザインW.G.」「ボディW.G.」「シャシーW.G.」「モータW.G.」に、社会環境とのスマートなトランスポート機能の開発を目的としたW.G.を加えた5つの体制で進めてきました。車輻開発にあたっては、

SIM-Drive のコア技術であるインホイールモータ等ではこれまでの技術基盤を踏襲しながら電費向上やトルク増大等に関わる改良を進め、その内外、車輛全般の構成要素に対して参画企業からの提案技術の採用を目指すスタイルで進められました。当社は電気自動車で要求される技術ニーズの把握、及び設計ノウハウや評価技術の修得を目指し、全ての W.G.に関わる 5 部品の提案を行ってまいりましたが、5 部品全ての採用に繋げることができました。



特に、5 つのテーマの中でも新設された W.G.での新規共同開発に参画できたことは、これからの当社ステージアップの足掛かりになりうる貴重な取り組みとなりました。また、参画におけるもう一つの目的である人材育成面では、出向常駐者だけでなく、本社開発担当者のスピーディな技能向上にも繋がり、株式会社 SIM-Drive の事業スキームの有効性に支えられた成果と考えています。

当社では、3号事業での成果と課題の分析を進め、付加価値の高い量産技術として深化させていく一方で、新たな量産車輛開発事業への参画、或いは、大手自動車メーカーが求める新規部品開発案件の獲得を目指して参ります。

(本件に関するお問い合わせ)

大同工業株式会社 技術開発本部 開発部長 奥村善雄

電話番号 (0761) -72-1234 代表

以 上